

ほすびたる

No.684

平成27年1月20日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

ご挨拶 年頭のごあいさつ 福岡県知事 小川 洋 ①

新年のご挨拶 公益社団法人福岡県医師会 会長 松田峻一良 ②

新年のご挨拶 公益社団法人福岡県病院協会 会長 石橋 達朗 ③

会員広報 平成26年度福岡県病院協会参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会報告 公益社団法人福岡県病院協会 専務理事 上野 道雄 ⑤

病院管理 これからの感染制御 九州大学病院 グローバル感染症センター センター長 下野 信行 ⑪

看護の窓 申し送りを利用した、多職種チームカンファレンスの取り組み 一般財団法人医療 介護 教育研究財団柳川病院 循環器病棟師長・認定看護管理者 井上由美子 ⑬

Letter ヒツジ、羊、未 雑考 国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園原看護専門学校 学校長 朔 元則 ⑯

Essay 赤十字巡礼の旅(その1) ~アンリー・デュナンの生涯~ 福岡赤十字病院 血液浄化療法内科 部長 満生 浩司 ⑱

Essay ヴァイオリンの不思議 元医療法人誠十字病院 平衡神経科 医師 安田 宏一 ㉑

■福岡県私設病院協会
平成26年12月福岡県私設病院協会の動き ㉒

■福精協の広場
「方丈記」に学ぶ 医療法人清陵会南ヶ丘病院 事務長 末光 晋也 ㉓

■編集後記 岡嶋泰一郎 ㉔

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

医院開業のご相談 お待ちしております

相談は無料!!

(福岡地区・北九州地区・南九州地区・中四国地区)

事業計画書作成／開業資金／土地（賃貸ビル・建て貸し含む）／診療
圏調査／設計／施工／医療器械／リース／調剤薬局／スタッフ／その
他開業に必要な什器物品／医療専門会計士

地区担当者と各分野のメディカル専門担当者が対応致します。信頼できるパートナーです。

ドクターの皆様へ! 団体所得補償保険制度(休業補償保険) 一団体割引

- 1 ワイドにガード** 国内、海外、業務中、業務外での病気・ケガによる休業、天災、自宅療養をワイドに補償! 24時間いつでもサポート!!
- 2 長期にわたり安心** 1年間は「基本コース」で補償、長期の場合も「新ロングコース」で最長70歳まで。
(就業障害開始時の年齢が65～69歳の方は最長5年間補償)
- 3 手続き簡単** 加入時の医師の診断不要。いつでも加入できます。
- 4 自動継続** 更新時には、加入内容等、特にお申し出がなければ自動的に継続がされます。
- 5 団体割引** 加入団体によって最大51%割引。

★お問い合わせ先／M.S メディカル(株)
URL:<http://www.msmedical.co.jp>
E-mail:msmedical@chime.ocn.ne.jp

〒810-0044 福岡市中央区六本松3-1-58 リード桜坂1F
Tel 092-722-0498 Fax 092-722-0525

年頭のごあいさつ

福岡県知事

小川 洋



あけましておめでとうございます。公益社団法人福岡県病院協会の皆さまには、晴れやかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

皆さまには、日ごろから県民の健康の増進と地域医療の確保にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、大河ドラマ「軍師官兵衛」や連続テレビ小説「花子とアン」の放映や、ミシュランガイド福岡・佐賀 2014 特別版の発刊により、福岡県が国内外から大いに注目されました。

また、福岡ソフトバンクホークスが3年ぶりに日本一に輝くといううれしい出来事もありました。

一方、国、地方ともに、少子高齢化、人口減少問題が改めてクローズアップされました。幸い福岡県は、人口増加が続いていますが、数年前には減少が始まります。平成16年に18.9%だった本県の高齢化率（65歳以上人口割合）も、平成26年には24.5%となっており、今後も確実に上昇を続けていくことが見込まれます。こうした社会状況の急速な変化を踏まえ、持続可能な社会保障の構築に向けて、対策を講じる必要があります。

こうした中、昨年6月には、いわゆる「医療介護総合確保推進法」が成立し、わが国の医療・介護制度は大きな変革の時期を迎えています。

本県でも、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、高齢者が可能な限り住み慣

れた地域で、その能力に応じ自立した生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けて、ICT（情報通信技術）を活用した病診連携や、24時間訪問看護といった在宅医療の推進、医療や介護に携わる多職種による連携体制づくりへの支援などを行っています。

また、効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するため、地域医療構想（ビジョン）を策定し、地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携推進に取り組んでまいります。

これらは、行政だけで進められるものではありません。県内の医療関係者や介護事業者をはじめ、関係者の皆さまとともに知恵を出し合い、適切な役割分担と緊密な連携のもと、地域医療の充実に全力を尽くしてまいりたいと考えております。

今後も、県民一人一人が、地域とともに支え合い、健やかで心豊かに過ごし、長生きして良かったと実感できる「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して、安全で安心な医療提供体制の確立にしっかり取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご支援とご協力をお願いいたします。

今年は未年です。羊は和を尊ぶ動物といわれています。地域全体が大きな和となり、前進し続ける福岡県にしたいと思います。

新しい年が、貴協会ならびに会員の皆さまにとって、素晴らしい一年となりますよう、心からお祈りいたします。

新年のご挨拶

公益社団法人福岡県医師会
会長 松田 峻一良



新年明けましておめでとうございます。健やかに2015年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。福岡県病院協会の皆様には日頃から医師会業務にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、度重なる台風の襲来や天候不順により、特に夏季は日照時間が少なく農産物をはじめ様々な分野で影響が出ました。同じ時期に、デング熱の感染や西アフリカをはじめとするエボラ出血熱の急速な感染拡大等の危機的な情報に触れ、現在福岡県における必要な体制構築への支援を進めております。

また、発生してからでは遅い災害時への対応として、相互支援に関する協定を7月に九州各県医師会と締結し、被災地県医師会からの情報の伝達が不可能な場合でも各県医師会の判断で独自に支援活動を行える体制を構築しました。

さて、国内総生産（GDP）の7月～9月期の速報値が年率換算でマイナス1.6%と2四半期連続のマイナス成長により、安倍首相は、消費税率10%への引き上げを2017年4月まで延期する方針を表明しました。この度の衆議院選挙では、与党の自民・公明両党が全議席の3分の2以上を確保して圧勝し、現在、医療における控除対象外消費税問題の取り扱いを含めた2015年度税制改正大綱の議論が年末の取り纏めに向けて急ピッチで行われております。

2015年度当初予算案も年明け早々に纏められる予定ですが、消費増税先送りによる財源不足をどうするのかは明確にはされておられません。

社会保障の充実とは国民との約束です。今回の増税見送りの影響が社会保障に及ばないように財源措置と充実を求めることが急務となります。

地域医療構想につきましては、医療介護総合確保推進法により、二次医療圏ごとの将来必要な医療機能を含めて策定することになっておりますが、今後の人口の推移や医療の需要と必要な医療資源はそれぞれの地域で異なります。これまでのように、国が全国画一の医療提供体制を示すのではなく、各地域で行政と医師会が主体となり、地域の実情を反映した、地域医療提供体制を構築していくことが県民のためにも重要となってまいります。福岡県医師会診療情報ネットワーク（とびうめネット）につきましても来年度から県下全ての医師会における運用を目指してまいります。

昨年のノーベル物理学賞の受賞は国民に希望と誇りを与えてくれました。「窒化ガリウム」の結晶化に世界で初めて成功してから、更に青色LEDの実用化技術を完成させるという地道な努力の成果がうまく引き継がれていったことは大変素晴らしいと思います。

社会構造の変化と激動する医療界を目の当たりにし、継続しながら改革を迫られる現状に本会としても是々非々として対応していかなければならないと感じております。本年も引続き、地域医療の充実に向けて、努めてまいりますので、ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶

公益社団法人福岡県病院協会
会長 石橋 達朗



2015 年をいかがお迎えでしょうか。新年明けましておめでとうございます。

今年が皆様にとって、良い年でありますことをお祈りいたします。

昨年の医療界を取り巻く関心事は、社会保障制度改革、病床機能報告制度、診療報酬改定、消費税（8%増税、10%先送り）、エボラ出血熱、デング熱、STAP 細胞疑惑、iPS 細胞の移植手術などが思い起こされますが、病院経営に係わる皆様にとっては、大きな制度改革元年への対応など、慌ただしい一年ではなかったでしょうか。

さて、九州大学病院を振り返ってみますと、昨年のトップニュースは、久保千春前当協会会長（前九州大学病院長）が、昨年の 10 月 1 日に九州大学総長に就任されたことです。着任早々に掲げられた「九州大学の将来ビジョン」の中には、病院に対して「世界第一級の診療拠点形成」と大きな構想を打ち立てていただき、また各方面に精力的に「診療においては、基礎研究の臨床への展開を積極的に推進し、九州大学病院が西日本地域の中核病院として、そしてアジアに開かれた国際的な医療機関として、その使命を果たしていきたい」と申しておられ、久保先生の後を預かる私としては、光栄であると同時にその重責に身の引き締まる思いです。

この久保総長の言葉には、大学病院としての使命である教育・研究・診療・社会貢献・国際化の全てが重く凝縮されておりますが、本紙面をお借りして、本院の「国際化」の取り組みをご紹介します。これは、本院の「アジア遠隔医療開発センター」で行っている事業で、本院とアジアを中心

に、また欧米を含む世界 48 カ国の 300 を超える医療機関との間で、インターネットを活用した高解度医療映像（先端的な手術映像や内視鏡医療等の高度な日本の医療技術）を送・受信し合い、テレカンファレンスにより最先端の医療技術の教育に役立てる事業です。

この活動が全国的に評価され、平成 25 年、本院が全国の国立大学病院（45 病院）の国際化事業を推進する代表校になり、国立大学病院間でも、現在 39 病院との間でネットワークの接続が完了しています。また、その他国内の 100 を超える病院との接続もしており、海外・国内の接続医療機関との間でテレカンファレンスによる最先端の医療技術を学びあえる環境が整いつつあります。この接続には、ウェブカメラ付きのコンピューターを整備すれば可能ですし、通信費は通常のインターネットで利用でき安価なため、今後、多くの病院と接続ができます。当協会の皆様もご関心があれば、本院の同センターにお問い合わせいただければと思います。

さて、本年は、いよいよ 4 月から、地域医療構想（ビジョン）の策定が始まります。これにより、各医療機関の役割や方向性が決まってくる大事な年となるのではと考えております。当協会でも、当構想の策定状況などいち早く情報をつかみ、各種研修また当機関誌等を通じ情報交換できるよう努めてまいりたいと考えており、皆様方のご協力をよろしく願います。

最後に、皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

公益社団法人 福岡県病院協会役員一同

(任期:平成26年5月27日～平成28年度定時会員総会終結時)

役職名	氏名	病院名
会長	石橋達朗	九州大学病院 病院長
副会長	坂本照夫	久留米大学病院 病院長
〃	佐多竹良	産業医科大学病院 病院長
〃	田村和夫	福岡大学病院 病院長
〃	竹中賢治	福岡市立病院機構 福岡市民病院 院長
専務理事	上野道雄	国立病院機構 福岡東医療センター 院長
総務理事	安藤文英	医療法人 西福岡病院 理事長
財務理事	平祐二	医療法人 原三信病院 理事長兼院長
企画理事	津田泰夫	福岡通信病院 院長
理事	飯田三雄	公立学校共済組合 九州中央病院 院長
〃	一宮仁	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 院長
〃	江頭啓介	医療法人社団江頭会 さくら病院 理事長兼院長
〃	大塚毅	宗像医師会病院 院長
〃	岡留健一郎	福岡県済生会福岡総合病院 病院長
〃	小野典之	公立八女総合病院 企業長
〃	壁村哲平	福岡市医師会成人病センター 院長
〃	小柳左門	特定医療法人 原土井病院 病院長
〃	島弘志	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 病院長
〃	津留英智	医療法人社団水光会 宗像水光会総合病院 理事長兼院長
〃	寺坂禮治	福岡赤十字病院 院長
〃	中山真一	医療法人相生会 宮田病院 病院長
〃	二宮英彰	福岡県立精神医療センター 太宰府病院 院長
〃	深堀元文	医療法人社団益豊会 今宿病院 理事長兼院長
〃	村中光	国立病院機構 九州医療センター 院長
〃	吉村恭幸	一般財団法人 福岡県社会保険医療協会 会長
監事	田中二郎	飯塚病院 顧問(前院長)
〃	福重淳一郎	福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 院長
〃	八木博司	特定医療法人八木厚生会 八木病院 会長
議長	岡嶋泰一郎	国立病院機構 小倉医療センター 院長
副議長	梅野守男	早良病院 院長
顧問	今泉暢登志	医療法人済世会 河野病院 院長
〃	河野正美	医療法人済世会 河野病院 理事長
〃	瓦林達比古	公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団 理事長
〃	草場公宏	船員保険 福岡健康管理センター 顧問
〃	久保千春	九州大学 総長 (福岡県病院協会前会長)

(五十音順)

平成26年度 福岡県病院協会 参与・ 各種委員会正副委員長・役員懇談会 報告

◎公益社団法人 福岡県病院協会 専務理事 上野 道雄

日 時 平成26年12月2日(火) 17:00～
場 所 ホテルセントラータ博多 3階「橋の間」
福岡市博多区博多駅中央街4-23
出席者 病院協会参与 5名
各種委員会正副委員長 14名
役員 24名 計43名

石橋会長挨拶、出席者の自己紹介の後、石橋会長の座長により進められた。

1 趣旨説明 (上野専務理事)

- ・各種委員会正副委員長への御礼。
- ・今回は各種委員会から報告書を事前に提出して頂き、資料としてお送りした。また、報告書は機関紙「ほすびたる」にも登載することになっている。初めての試みであるが、よかったのではないかと考えている。
- ・本日は主に各種委員会の正副委員長から報告書に基づき研修会の概要等を発表して頂く。参与の方ともども、当協会に対する忌憚のないご意見や助言をお願いしたい。

2 第8回県民公開医療シンポジウムの報告 (竹中副会長)

今年の県民公開医療シンポジウムは、第55回日本人間ドッグ学会学術大会とのジョイントで、9月4日に福岡市のエルガーホールで開催した。

女性特有の乳がんと子宮がんの予防と早期発見という演題で、乳がんは久留米総合病院院長の田中眞紀先生に、子宮がんは九州大学産婦人科教授の加藤聖子先生にご講演いただいた。林田スマさんの軽妙なトークで和やかな雰囲気の

中で行われ、参加者は258名、アンケートでも多くの方が非常に興味あるテーマであった、とてもわかりやすくまた参加したいとの評価をいただいた。今までは医療行政の話ばかりであったが、このような医療の内容に関するシンポジウムもよいと思った。

来年は、公立八女総合病院の小野先生に担当していただき、8月1日土曜日に「えーるピア久留米」で、「食とアレルギー」というテーマで開催予定であり、県民の皆様にご案内していきたい。

3 各委員会からの報告

(※ 事前に提出された報告書をそのまま掲載)

ア 病院研修会 … 上野委員長(福岡東医療センター院長) 報告

福岡県病院協会の公益法人化の際、本協会の各種委員会は高く評価されたが、医師や院長を対象にした委員会の有無を指摘された。考えて見ると、高齢化社会を迎えて、病院の課題は多く、将来像を描くことも困難な状況である。地域に障害を抱く高齢者が地域に溢れ、地域の人口動態が大きく変わる近未来、医療計画や病床種別から、医療・介護に果たす病院の役割、課題は大きい。医師だけの裁量で問題解決は不可能で、看護職等のコメディカルを含む病院の総力を挙げた対策が必要である。また、医療法の改正に伴い、来秋には診療関連死に関する体制が決定される。更には、エボラ出血熱等の感染症を始めとする感染症や災害時の病院間の連携等、個々の病院では解決が困難な多くの課題が存在する。ほぼ全ての公的病院と多くの私設病院を擁する福岡県病院協会が、種々の問題で情

報共有と議論の場を提供することは、公益法人として相応しいと思われる。第1回、第2回の病院研修会では、医師と看護職、事務職の参加者が凡そ、3分の1ずつであった。更なる医師の参加を期待したいが、少なくとも、この割合の維持を目標としたい。今回は、高齢者の救急医療に関する福岡県と福岡県医師会の試み、「とびうめネット」に関する研修会を平成27年2月16日（月）に福岡県メディカルセンターでの開催を予定している。多くの参加をお願いしたい。

イ 看護委員会 … 中畑委員長（九州大学病院 副院長兼看護部長）報告

看護委員会規程により、担当理事2名、4大学の看護部長、公的病院の看護部長3名、民間病院の看護部長4名の計13名の構成により、本県病院の看護職員の資質向上を図るため研修会の企画、運営を行っている。

研修会は、看護職員のニーズを考慮しながら現場の問題に即したホットな内容を中心に年4回、開催している。参加者は1回平均370名（25年度）を数え、熱気溢れる研修風景に看護職員の意欲の高さを感じている。最近では国内において現場の厳しい状況の中から生み出され、新たな看護体制として全国各地で共感を呼び実践が拡大しているパートナーシップ・ナーシングシステム（PNS）に関する研修はことのほかニーズが高く、3年連続で今年も開催したが605名の参加者を集めた。

一方で、開催する担当病院の講師依頼、講義の調整、当日の受付からすべての運営、アンケート調査のまとめ等人的・時間的・経済的負担も感じている。さらに、300床以上の病院（加盟病院の24%）から参加する職員が全体の60%以上を占めており、研修曜日等の検討も課題である。

【最近の主な研修内容】

- ・ 労務管理・メンタルヘルスに関する内容
- ・ パートナーシップ・ナーシングシステムに関する内容

- ・ パワーハラスメント、アンガーマネジメントに関する内容
- ・ コーチングに関する内容
- ・ 認知症をもつ人の理解とケアに関する内容等

ウ 診療情報管理研究委員会 … 阿南委員長（九州医療センター 実務統括管理者）報告

6月4日に第49回、11月26日に第50回と2度の研修会を開催。各々、198名、221名の参加者を集めた。最近では、日本診療情報管理士会を通じて開催を案内していることもあり、第49回が58名（うち県外16名）、第50回が76名（うち県外23名）と会員外参加者も目立つ。

第49回については、本年度の診療報酬改定、平成28年から病院での地域がん登録の義務化を踏まえて、「がん登録・診療報酬改定について」をテーマとした。がん登録は福岡県の行政担当者の講演、また、多くの参加者がDPCに関わり、地域医療包括ケア病床や7対1看護の要件としてデータ提出加算届出が求められることもあり、DPC評価分科会保険医療専門審査員である竹井和浩氏の講演を企画した。また、研修会参加者にアンケートを実施し、その結果から、次回、第50回の企画を検討した。中小病院でもデータ提出加算届出が求められる時代になっていること、病床機能報告制度が開始されたことを踏まえて、大病院が中心とみられがちな診療情報管理であるが、あえて中小病院にターゲットを当てることとした。テーマは「病床機能報告制度・データ加算提出・DPC/PDPSコーディングテキスト」とし、また、近々、コーディングテキストの議論も厚労省で始まるので取り上げることにした。参加者の急増から病院ニーズをうまく取り入れたのではないかと考えている。

エ 栄養管理委員会 … 山口委員長（九州大学病院 栄養管理室長）報告

第63回栄養管理研修会は以下の趣旨により開催いたしました。平成24年度診療報酬改定により「糖尿病透析予防管理料」が新設され、

今後、糖尿病患者の透析導入率が下がれば患者のQOLを下げることなく医療費抑制につながります。これは一石二鳥の効果となるチームで取り組んで達成できる医療のひとつです。今回の研修会では、糖尿病と腎臓病の専門医のそれぞれの立場からの講演2演題と実際に効果を上げている病院の事例、医師、看護師、栄養士がチームで取り組んでいる実際を講演してもらいました。

実施日は、平成26年8月30日(土)10:00～16:10、場所は、九州大学医学部百年講堂大ホールで開催しました。参加人数は321人、内訳は半数が看護師、あと約半数が管理栄養士でした。この委員会の開催のポイントは学会の認定を4学会から得ていること。また、今回は新たに多くの参加者を見込んで開催日を土曜日にしたことです。参加者の半数以上が看護師であったことはチーム医療ということで「栄養管理の必要性の認識」が栄養士以外でも得られてきていることではないかと嬉しく思いました。

次にアンケート調査を行いましたので、簡単に報告します。回収率は79%で、結果は85%以上が「内容」非常に良い、「理解」よくわかった、「活用度」役に立つでした。次回の研修会で希望されているテーマは、「高齢者の栄養管理」が一番多く、次いで「糖尿病」でした。この結果を踏まえて次回の研修会を計画していきたいと考えています。

オ 臨床検査委員会 … 川島委員長(福岡大学病院 臨床検査技師長) 報告

臨床検査委員会では病院システム管理研修会を年1回開催しています。

平成25年度は「臨床検査技師(検査室)のこれからの役割」のテーマにて4題の講演を企画し開催しました。参加者は74名でした。

平成26年度は「チーム医療への取り組みPart 2」をテーマとして、講演Ⅰ「病院薬剤師としてのチーム医療の取り組みについて」、講演Ⅱ「看護師新人教育とチーム医療推進教育」、講演Ⅲ「病棟検査技師としてのチーム医

療の取り組みについて」の3題の講演を企画しています。日時は平成27年2月21日(土)13時55分から、会場は九州大学医学部百年講堂にて開催します。チーム医療に現在参画している方、またはこれから参画しようと考えている方にとって、大変有意義な研修会になると確信していますので、是非たくさんの方の参加をお待ちしています。

カ リハビリテーション委員会 … 浜村委員長(小倉リハビリテーション病院 名誉院長) 報告

当委員会は、平成24年度に発足し、年2回の委員会と研修会を実施してきた。病院におけるリハビリテーション(以下、リハ)は、医療保険中心に介護保険にもまたがり、急性期・回復期・生活期と時期によっても目標・役割などが異なる。

したがって、抱える課題も多岐に及び、「摂食嚥下」「これからの地域連携」「チーム医療」「リハに関する診療報酬改定の概要と対応」など、当面の課題を研修テーマとしてきた。毎回、220～400名の参加を得ている。

本年度は、11月1日、「病院から在宅に帰る患者情報の伝達は円滑に行えているか」をテーマに、上野道雄(福岡東医療センター)先生に基調講演をいただき、浦川雅広氏(飯塚病院 医療福祉相談室)、坪根雅子氏(ケアプランコスモ)、山下智範氏(あおば地域医療研究所)、加藤ひとみ氏(小倉医師会訪問看護ステーション)、堤 啓氏(粕屋医師会)によるシンポジウムを開催した。参加者は、345名(会員281名、会員外64名)で、活発な質疑応答もあり、地域連携に関する関心の高さが伺われた。次回は、年度末に介護報酬改定に関する研修会が予定されている。

毎回共通する課題は、医師と急性期病院からの参加が少ないことである。これには、テーマの設定や広報のあり方などに課題があると思われる、関連部署への広報も始めた。福岡県におけるリハ医療の発展には、急性期病院と医師のリハへのかかわりと関心が期待される。

キ 経営管理委員会 … 大石委員長（浜の町病院 事務部長）報告

1, 会議記録

- 1) 第1回経営管理委員会（H26. 7. 24）
- 2) 第2回経営管理委員会（H26. 8. 11）

2, 平成 26 年度第 1 回経営管理研究会

（平成 26 年 9 月 26 日）

メインテーマ：「地域包括ケア病棟への対応」

講演Ⅰ：「どう活かす？最大最強の地域包括
ケア病棟」

医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院理事長
仲井培雄先生

講演Ⅱ：「当院における地域包括ケア病棟入
院料算定の取り組み」

特定医療法人原土井病院 法人部副事務部
長兼地域支援部副部長 樋口征治先生

参加者：245 名

3, 協議事項

今年度の研究会テーマは、診療報酬改正の
大きな課題である「地域包括ケア病棟の対
応」をテーマとすることとした。

講演は、全国的な取組み及び福岡県内での
導入事例紹介の2題とすることとし、講師
は地域包括ケア病棟協会会長 仲井培雄先
生（石川県芳珠記念病院理事長）、特定医
療法人原土井病院法人部副事務部長兼地域
支援部副部長 樋口征治先生に調整を依頼
することとした。今回は、講演終了後アン
ケート調査を実施し、次回以降の研究会開
催の参考にすることとした。

4, アンケート集計結果（180 名、回収率 74%）

**① 地域包括ケア病棟入院料・入院診療管理
料の届出状況**

既に届出89名、届出予定38名、検討中23
名、予定なし22名、未記入8名

② データ提出加算の届出状況

提出済み86名、提出体制は整備44名、未対

応15名、未記入5名

③ 今回の研究会の内容は

非常に役立つ101名、まあまあ役立つ74
名、未記入5名

④ 講演内容は

大変満足48名、まあまあ満足121名、あま
り満足できない7名、未記入4名

⑤ 次回のテーマは何を希望されますか

医療政策50名、医療経営・管理118名、医療
安全42名、その他1名

第2回研究会については、今回のアンケー
ト調査で要望の多かった「医療政策」「医
療経営・管理」についての研究会開催を視
野に検討する。

**ク 医療事務委員会 … 竹ノ畑委員長（浜の
町病院 医事課長）報告**

〈平成 25 年度〉

第 113 回医療事務研究会 開催

日 時：平成 26 年 3 月 27 日（木）

場 所：九州大学医学部百年講堂

福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号

講 師：メディカル 21 村上佳子 先生

研修内容：「2014 年診療報酬改定の概要」

2014年4月は2年に1度の診療報酬改定が実
施される年であり、2月中旬頃より診療報
酬に係る内容に点数が入り始め、詳細な施
設基準や内容は3月上旬に出ることが予想
されていることから、3月末に内容がほぼ
出揃った時点で、その内容に詳しい専門の
講師を迎えて改定のポイントを説明いた
だき、各医療機関での改定対応の一助にな
れどと考え開催した。

特に今回の改定は社会保障・税一体改革案
で2025年までのグランドデザインで示され
た内容が多数盛り込まれた内容となってお
り、各医療機関の関心も高く318名の参加
をいただいた。

〈平成 26 年度〉

第 114 回医療事務研究会（予定）

日 時：平成 27 年 3 月中旬

場 所：九州大学医学部百年講堂

福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号

講 師：社会保険支払基金及び国民健康保険
団体連合会 審査担当課長

研修内容：「診療報酬請求における査定・返
戻等について。審査の立場から」(仮
題)

近年、診療報酬請求における査定・返戻が増
加の一途を辿っており、各医療機関において
も対応に苦慮されていると思われる。

そこで今回、社会保険支払基金及び国民健康
保険団体連合会の審査担当課長にご講演頂く
ことにより、査定・返戻の傾向や対策を掴む
機会としていただければと考えている。

各医療機関より多数の参加をお願いしたい。

4 参与のご意見

中野参与（福岡県歯科医師会 副会長）の意見

- ・ 各種委員会の報告書を資料として事前に頂
いたことは大変良かった。
- ・ 研修会活動が活発に行われている。歯科医
師会もいろいろな研修会等を実施しており
なかなか参加できないが、機会があれば参
加したい。
- ・ 歯科口腔保健の推進に関して、平成 22 年
制定された法律に続き平成 25 年 3 月には
福岡県でも条例が制定された。条例に基づ
いて施策を進めているところであるが今後
ともご協力をお願いしたい。特に連携を進
めるために、医家からも情報提供をお願い
したい。

有田参与（福岡銀行 執行役員公務金融法人部長）
の意見

- ・ 様々な研修会が開催され、医療機関に従事
の方が多く参加されており、地域医療技術
の水準が維持されていることについて、受
診する側として、また取引先としても心強
く感じている。研修会を開催されている病
院協会に感謝したい。福岡銀行も現役・

OB 含めて 100 名近い職員が医療機関に従
事しており、日々勉強と言っているが、特
に経営管理や事務管理の面での研修会を充
実させて頂きたい。

- ・ 今後、人口減少や高齢化という大きな問題
がある。金融業界でも経営課題と認識して
おり各地で金融再編などの動きがあるのは
ご案内のとおりである。人口減少や高齢化
に対し、地域医療として高度の議論がされ
ていることを聞いて共感し、感服している。

小林氏（西日本シティ銀行、池本参与の代理）の
意見

- ・ 事前に資料を配布したのはいい試みだっ
た。読みこんできて、皆さんの報告がよく
理解できた。
- ・ 各研修会のキーワードが「チーム医療」で
あると感じた。特に栄養管理研修会の参加
者の半数が看護師であったのはチーム医療
の意識の高まりの表れであると思った。
- ・ 看護研修会の「パートナーシップ・ナーシ
ングシステム」については、ニーズが高く
多くの参加者があり、医療安全と労働環境
改善に非常に効果があると思うので、これ
からもこのような研修会を継続的に実施し
てもらいたい。

堺参与（福岡県弁護士会 弁護士）の意見

- ・ 会議に参加して、各種研修会を充実させて
おられることがよくわかった。また、機関
紙「ほすびたる」を通じて皆さんが研鑽を
積んでおられることもよくわかった。
- ・ 今回初めて「声」欄に寄稿したが、参与と
して皆さんに情報提供できることを励みに
している。

田川参与（西日本新聞社）の意見

- ・ 医師主導というより看護、リハビリ、栄養、
事務など一番患者に近いところの方々が中
心になって研修に取り組んでおられること
に感銘を受けた。また、公益法人としての

取組みがなされていると思った。

- ・「ほすびたる」から新聞のネタを一ついただいた。9月号に掲載された「福岡 官兵衛塾 いざ開講」に関連して取材を行い、夕刊の記事にした。「ほすびたる」がますます充実することを願っている。

最後に上野専務理事から、欠席の県医師会会長に代わって、「とび梅ネット」に関する協力要請と「診療関連死」に関する協力に対しての謝辞が述べられるとともに、後の懇親会での辛口の意見をお願いされて懇談会は無事終了した。

会員名簿変更のお知らせ

◎福岡県病院協会事務局

会員名簿 ページ	施設名称	項目	変更内容
1	福岡県済生会福岡総合病院	診療科目	心臓血管外科（追加）
1	地方独立行政法人 福岡市立病院機構 福岡市立こども病院	施設名称	左記のとおりに変更
		郵便番号	813-0017
		所在地	福岡市東区香椎照葉5-1-1
		電話番号	092-682-7000
		診療科目	小児循環器内科 小児神経内科 小児内分泌・代謝内科 小児腎臓内科 新生児内科 小児感染症内科 小児血液内科 児童精神科 整形・脊椎外科 皮膚科 脳神経外科（10科目追加） 小児科（循環器） 小児科（神経） 小児科（内分泌・代謝） 小児科（腎臓） 小児科（新生児循環器） 小児科（感染症） 小児科（血液） 整形外科 小児精神科 感染内科（10科目削除）
		開設年月日	平26.11.1（移転）
2	千鳥橋病院	開設者（病院代表者）	（公社）福岡医療団
		管理者	豊田 文俊（朱字=会員）
3	独立行政法人 国立病院機構 福岡病院	病床数 一般	360
		病床数 計	360
4	福岡歯科大学医科歯科総合病院	開設者（病院代表者）	（学）福岡学園
9	糸島医師会病院	診療科目	乳腺外科（追加）
10	医療法人せいわ会 みなかぜ病院	管理者	堤 啓（朱字=会員）
10	町立芦屋中央病院	診療科目	麻酔科（削除）
10	遠賀中間医師会おかがき病院	開設者（病院代表者）	（一社）遠賀中間医師会
10	遠賀中間医師会おのが病院	電話番号	093-281-2810
12	社会保険田川病院	診療科目	産科・婦人科 循環器内科 消化器内科 糖尿病内科 放射線診断科 放射線治療科 乳腺外科（7科目追加） 産科 婦人科 循環器科 消化器科（4科目削除）
13	地方独立行政法人 川崎町立病院	診療科目	リハビリテーション科（追加）
13	久留米リハビリテーション病院	診療科目	循環器内科 内分泌・糖尿病内科 消化器・肝臓内科 リウマチ科（4科目追加） 循環器科（削除）
		病床数 療養	92
		病床数 計	128
15	医療法人松風海 内藤病院	開設者（病院代表者）	（医）松風海
		管理者	内藤 壽則（朱字=会員）
16	長田病院	診療科目	緩和ケア内科 老年内科（2科目追加）
16	米の山病院	管理者	後藤 良三（朱字=会員）
18	新小文字病院	診療科目	ペインクリニック内科 ペインクリニック外科（2科目削除）
20	製鉄記念八幡病院	診療科目	脳血管内科 歯科・口腔ケア科（2科目追加） 美容外科（削除）

◎訂正 前号（平成26年12月20発行の683号「病院管理」10頁）に掲載しました山下舞子様（福岡市民病院医事課）の原稿の中で2か所数字に誤りがありましたので訂正いたします。誤…500円→正…500万円

これからの感染制御

九州大学病院 グローバル感染症センター センター長

下野 信行

感染症を診るにあたって、感染症診療と感染制御の大きな柱がある。

感染症診療においては、1940 年を過ぎて開発された各種抗菌薬のおかげで、肺炎をはじめとした細菌感染症は激減し、1990 年代前半までには多くの抗菌薬が開発されたこともあり、感染症は制圧可能な疾患と考えられた時期があった。一方、感染制御に関しては、1986 年に日本環境感染学会が設立されたが、欧米に比べて日本での取り組みは 20 年ほど遅れて始まった。当初の薬剤耐性菌は、MRSA のみと言ってもよく、感染対策と言っても、手指消毒薬を設置するのが主なものであり、多くの医療従事者にとって疎遠なものであった。

それから 20 年あまりのうちに、感染症診療においても感染制御においても、現在と比較すると大きな変貌を遂げてきた。インフルエンザの迅速診断をはじめとした診断の進歩に加え、細菌感染以外のウイルス性疾患の診断が可能となってきた。また減少した肺炎による死亡は再び増加し、最近では死因の第 3 位になってきている。感染制御においても、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師をはじめとした多職種による取り組みがなされるようになってきた。九州大学病院でも、1990 年後半に始まった感染制御部は、2011 年 11 月にグローバル感染症センターと改称されることになった。目的は、ボーダーレスになってきている感染症に対応するためである。

このような背景の中で、現在・今後の感染制御を「院内における感染制御」、「地域における感染制御」、「世界における感染制御」について簡単に述べる。

1. 院内での感染制御

2012 年からは、診療報酬において、感染対策加算が設けられるようになり、それぞれの病院でさらに

感染対策への関心が高まってきている。九州大学病院でも、ラウンドの強化や抗菌薬の適正使用の推進、アウトブレイク監視などに努めているところである。この 20 年間程度でも感染症における考え方も大きく変わり、適切な診断と薬剤の選択・投与法に重点が置かれるようになってきている。また、感染対策においてもその感染経路をより重要視するようになってきた。感染症は、どの分野においても普遍的に起こることを考えると、適切に対処していくためには、やはり教育が一番であると考ええる。

2. 地域での感染制御

上記のような院内感染対策も、薬剤耐性菌への対応が主たるもので、もちろんそれぞれの病院で対応するのが基本である。しかしながら、病病連携、病診連携、その他のケア施設などとの連携が盛んな現在においては、感染対策においても個々の病院のみの対策にとどまることなく、地域をあげて、医療機関どうしが連携をとって対応することが重要視されている。先の感染対策加算の算定条件においても、地域の中核病院が、中小規模の病院と定期的なカンファレンスを持ちつつ対策するように求められている。

ただ感染症を専門とする医師は極めて少ない現状がある。看護師、薬剤師や検査技師においても然りである。そこで、我々グローバル感染症センターでは、人材育成プログラムを通して、地域全体の感染症診療および感染対策のレベル向上を目指すようにしている。実習を通じた看護師教育、適切な診療のための医師・薬剤師中心の勉強会、適切な細菌検査を推進するための医師・検査技師の勉強会などを行っている。これらは地域医療機関の協力を得ながら行っており、連携の強化にもつながっている。

もちろんインフルエンザ対策なども地域全体の協力が必須であり、行政を中心に、医療機関、医師会などとの連携が必須となってきている。

3. 世界における感染制御

さらに世界に目を向けると、重症熱性血小板減少症（SFTS）、鳥インフルエンザ、中東呼吸器症候群（MERS）などの新興感染症、デング熱、エボラ出血熱などの熱帯病など、交通手段の発達した現代においては、地球の裏側の感染症もすぐに輸入される時代になってきた。薬剤耐性菌に関しても、日本を除くアジア諸国においては特に深刻で、一国のみの対策では不十分になってきている。例えば日本ではほとんど見られない多剤耐性アシネトバクターもアジア諸国においては、アシネトバクター全体の70～80%という高頻度に認める国が多い。WHOは、World Health Day 2011において、薬剤耐性の問題を取り上げ、「No action today, no cure tomorrow」と呼びかけ、薬剤耐性が進むと、抗菌薬がなかった時代に戻りうる懸念を示している。医療ツーリズムも盛んな現代においては、常にその動向に注意を払っておく必要がある。

一方、ワクチンに関しては、日本は海外諸国に比べると接種率が低い傾向にある。海外旅行時などには、ワクチン接種を勧め、疾患予防を図るべきであり、私たちも渡航外来を開設して、接種を行っている。

以上のように、感染症分野では、常に新しい病原体の出現する可能性があり、また細菌・ウイルスに関しても既存の有効な薬剤に耐性となり、無効となってしまうこともあります。新しい情報を常に入手しておく必要性が高いと言えます。また、多くの人が感染する可能性があるがゆえに、地域や国を挙げての対応も必要となり、情報の共有は極めて重要です。そのためにも、最も重要なことは、地域を挙げての感染制御であり、地域の医療機関とのさらなる連携を大事にしていきたいと考えております。上記の「地域での感染制御」でご紹介致しました実習や勉強会に興味を持たれましたら、九州大学病院グローバル感染症センター（092-642-5962）までご連絡いただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテンのリース洗濯 患者私物衣類の洗濯

☆寝具・カーテン・看護衣・診察台カバー・タオル・紙おむつ・レセプト用紙
介護用品等の販売、ベッドマットリース・販売、給食材料・給食依託業者・
重油等の斡旋及び各種保険の取扱いもしております。

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

Clean & Comfortable



理事長 陣 内 重 三

専務理事 吉松 秀則

理 事 佐田 正之

理 事 原 寛

監 事 牟田 和男

理 事 武田 正勝

監 事 津留 英智

理 事 江頭 啓介

事務局長 小野 裕三

〒 811-2502 糟屋郡久山町大字山田 1217-17
TEL 092-976-0500 / FAX 092-976-2247

看護 の窓

申し送りを利用した、多職種チームカンファレンスの取り組み

一般財団法人 医療 介護 教育研究財団 柳川病院
循環器病棟師長 認定看護管理者

井上 由美子

はじめに

チーム医療において、知識や情報を共有するために、多職種によるチームカンファレンスの開催は重要である。カンファレンスの種類や方法は様々であるが、柳川病院開設4年目を迎える循環器病棟（循環器内科・心臓外科）では、毎朝、参加者がそれぞれ実践した内容について経過報告を行なうことを目的とした、多職種によるチームカンファレンスを開催していた。これにより、それぞれの専門職者が患者に関わったあらゆる状況を把握し、情報を共有することで効率的な医療サービスを提供することをめざしてきた。参加メンバーは医師、理学療法士、言語療法士、管理栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー、臨床工学技士、臨床検査技師、看護師であり、看護師に関しては申し送り時間と重なるため、1名のカンファレンス担当看護師と師長が参加していた。しかし、カンファレンスの内容を記録として残していても、重要視せず見ない看護師も多く、十分に共有されていない状況であった。また、カンファレンス担当の看護師は、早出業務とし、あらかじめ夜勤看護師から、患者の夜勤情報を入手する必要がある、夜勤看護師が電子カルテに記録できていない患者の情報を夜勤看護師から事前に直接申し送りを受ける必要性が生じ、業務の無駄を感じていた。さらに、看護師が行なう申し送りはチーム医療を提供するうえで、他職種においても重要な情報が提供される場であるのではないかと考えた。そこで、これらの問題点を解決し、より

効率的で、多職種における充実したカンファレンスの開催のために、看護師長がマネジメントを行ない、看護師申し送りを利用した多職種チームカンファレンスの開催を試みた。

I. カンファレンス参加対象スタッフ

循環器病棟看護師（27名）医師（4名）理学療法士（4名）言語療法士（1名）薬剤師（1名）管理栄養士（2名）ソーシャルワーカー（1名）、臨床工学技士（4名）臨床検査技士（2名）



II. 各職種の経過報告内容のマニュアル作成

チームカンファレンス開催：

月～金の8：30～9：00

- ① 夜勤看護師報告内容：状態の変化およびイベントが発生した患者の内容を報告する。特に変化がなければ「なし」と報告する。
- ② 理学療法士報告内容：前日行なった、心臓リハビリテーション内容を報告する。

- ③ 管理栄養士報告内容：前日行なった、栄養指導内容を報告する。
- ④ 薬剤師報告内容：前日行なった、服薬指導内容を報告する。
- ⑤ ソーシャルワーカー報告内容：退院支援状況を報告する。⑥検査技師報告内容：当日行なう心臓カテーテル検査および治療患者の穿刺部（橈骨動脈）血管エコー検査結果の報告（結果により穿刺部位が決定する）および、前日行なった、心肺運動負荷試験結果を報告する。
- ⑦ 臨床工学技師報告内容：人工呼吸器・IABP・PCPS など高度医療機器の設定状況および輸液ポンプ、シリンジポンプ使用台数を報告する。
- ⑧ 医師は各職種の報告内容から随時、状態に応じた指示出しや治療方針および治療内容を報告する。
- ⑨ 師長は、司会進行および記録を行ない、随時、退院決定患者の報告や、前日ラウンド時に患者から得た情報で、各職種に対応してほしい内容や相談などを行なう。などの報告順や内容の設定を行なった。



Ⅲ．実践の結果と考察

申し送りの短縮や廃止が加速する中、申し送りの利点としては、口頭による効率的な伝達ができること、受け持ち患者以外の患者の情報が

共有できること、ポイントが整理できるなどがあげられている。申し送りの短縮や廃止によって得られる効果は、ケア・処置・記録への有効な時間利用であることがあげられているが、申し送りの短縮や廃止で補うものとして、記録内容の充実やカンファレンスの充実などが必要であるとされている。

そこで、看護師申し送りの利点を生かしつつ、カンファレンスの要素を持たせる方法として、朝の看護師申し送りを利用した多職種でのチームカンファレンスの実践を試みた。これは、より多くのスタッフが効率よく知識や情報を共有する場として、看護師が行なう申し送りがチーム医療を提供するうえで、他職種においても重要な情報が提供される場であることに着目し実施した。また、チーム医療のキーパーソンとして看護師長が多職種チームカンファレンスのマネジメントを行なうことで、他職種と連携を図り実践マニュアルを作成し、業務の一環として1年半を通して実践することができた。開始当初は、スタッフのプレゼンテーション能力やアセスメント能力により、時間が超過することが多かったが、2ヶ月経過した頃には、設定した時間内に実施することが出来るようになった。また、「緊張する」「プレッシャーを感じる」「自信がない」「報告内容をまとめることが負担である」などの意見も聞かれていたが、その都度丁寧に励まし、ねぎらいながら自信を持たせ成長できるよう関わっていった。医師からは、「全体的にプレゼンテーション能力やアセスメント能力は回を重ねるごとに成長が見える」との意見が聞かれた。これは、実践を積み重ねることによりスキルアップできることを実感できた。実際に多職種チームカンファレンスの開催は、仕事をするうえで役に立っていると感じている看護師の意見では「プレゼン能力の向上になる」「他職種との向上が図れる」「統一した患者指導が実践できる」「自分の職種だけ

では知り得ない情報が得られる」「心臓リハビリテーションの進行状況が分かるため ADL 拡大の目安になる」などの意見が聞かれた。また、他職種の意見では「カルテに記載されていない情報を知ることができる」「タイムリーな情報が得られる」「夜間帯の状況を知ることができる」「病状の経過を確認できる」「他職種のコメントを聞いて勉強になる」「問題の解決に繋がっていると感じる」などの意見が聞かれた。これは、共通認識のもとでの患者と関わりが、よりタイムリーに対応できることや、チーム全体の患者との信頼関係の構築に繋がることを実感できた。

毎日の師長のラウンド時には、患者からは「このスタッフはみんな良くして下さる」「対応が早い」「いろんな職種が関わってくれて助かる」など多職種チームカンファレンスの効果が実感できる声が聞かれることが多くなった。

業務の一環として定着させることは、もちろん医師の協力が重要であるが、各職種の意思の

統一やチームワークが重要である。また、チーム医療における看護師長のマネジメント能力が問われるところでもあると考える。やりがいを持ってチーム医療のキーパーソンとして、チーム全体を牽引できるよう、日々、研鑽が必要である。

IV. おわりに

柳川病院に循環器病棟を開設して4年目（実践継続1年半）の今回のチャレンジは、チーム医療の質の向上に繋がることを実感することができ、今後も、多職種チームカンファレンスの評価、修正を行ないながら、質の向上に努める必要があると考える。急性心筋梗塞や心臓外科手術後患者など高度医療を提供するうえで、患者・家族に「ここに運ばれてきてよかった」「ここで手術をしてよかった」などの声が聞かれる中、更なるチャレンジを実践し、意欲を持ってチーム医療の質の向上を図り、安心・安全な医療の提供に努めていきたい。

おもいやりの心でサポートします

県内精神科病院の寝具及び下着類の洗濯・貸与・販売・補修業務一切
他にグループ保険・病院賠償責任保険等の各種保険

福岡県精神科病院協同組合

理事長 富松 愈

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 2F
TEL092-521-0690/FAX092-524-4632

九州一円の医療機関経営をサポートする
福岡県精神科病院協同組合100%出資会社

有限会社 DMS (ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 3F
TEL092-525-7666・7667/FAX092-525-7668

ヒツジ、羊、未 雑考

国立病院機構 九州医療センター 名誉院長 朔 元 則
学校法人原学園 原看護専門学校 学 校 長

ヒツジ (Ovis aries)

昨年の1月号のLetterでは午年に因んだテーマを選んだので、未年の今年は羊に関する話題を取りあげてみたい。

本稿の執筆に取り掛かるまで私も全く知らなかったのであるが、ウィキペディアによるとヒツジ(学名 *Ovis aries*)はウシ目、ウシ科(亜科はやギ亜科)に分類される動物ということである。素人目にはウシとはかなりかけ離れた動物にしか見えないのであるが、どちらも反芻動物ということで同じ科に分類されるのであろう。野生種は大型のアルガリ(アジアの高山地帯に分布し、体長120cm、体重100~180kg)と小型のムフロン(ヨーロッパ、アジアに分布)の2種があるが、我々が通常目にするのは、これらが家畜化されたものである。

家畜としての羊

羊の家畜化の歴史は非常に古く、紀元前(BC)8000年頃の西南アジアに遡ると考えられている。BC7000~6000年頃の古代メソポタミアの遺跡からは、野生の羊とは異なる小型の羊の骨が大量に出土されるそうである。馬の家畜化がBC4000年頃と推定されていることと比較すると、羊の家畜化には極めて古い歴史があると言えよう。

文化人類学者のダイヤモンドUCLA教授(Jared Diamond 1937~)は著書 *Guns, Germs and Steel* (銃・病原菌・鉄、倉骨彰訳2000年10月刊、草思社)の中で、大型哺乳動物の家畜化には、①餌の問題、②成長速度の問題、③繁殖上の問題、④気性の問題、⑤パニックになり易いかどうかという性格の問題、⑥序列性のある集団を形成するかどうかという習性の問題など、6つの問題が存在すると述べている。詳細を紹介するのに紙面の余裕

がないのが残念であるが、その内容はとても興味深い。

たとえば動物のなかで最も上質な毛を持つ(人間が衣類として利用する上でという意味である)ビクーニャ(私は一度だけビクーニャ製の背広の替上着を見せてもらったことがあるが、信じられないような軽さであった。勿論100万円超の超高級品で庶民に手が出るような代物ではない)は、交尾する前に複雑な求愛行動を長時間おこなう習性があるため人工的に繁殖させることができず、家畜化は無理なのだそうである。シマウマはとても気性が荒くてこれまで何度も家畜化に失敗したという歴史があるし、ガゼルは肉はとても美味しいのであるが(私はケニア旅行の時に一度賞味したことがある)、囲いの中に入れられるとパニック状態になって、死ぬまで柵に体当たりを繰り返すので、家畜化は無理なのだそうだ。

このような動物とは反対に、羊は家畜化には最適の動物である。羊は性格が穏やかである上に群れたがるという習性を持っていて、群れから引き離されるとパニックに陥ることも珍しくないということである。また先導者(その先導者はしばしば単に最初に動いた仲間の羊の一頭であったりする)に従う傾向がとても強いのもその性格の特徴なのだそう。司馬遼太郎氏が講演で語っておられた話(草原からのメッセージ、新潮社CD)であるが、羊の群れの中に数頭の山羊を一緒に入れておくと、山羊がチョコマカと動くことに誘導されて羊も動き、放牧にはとても都合が良いのだそうである。

牧羊の先進国で興ったユダヤ教やキリスト教の教典である聖書に、「迷える子羊」という言葉が頻繁に出てくるのも、このような羊の動物学的習性を考えるとよく理解出来るような気がする。

ダイヤモンド教授が家畜化の要件として最後に挙げた「序列性のある集団を形成し易い動物」と

いう条件も、イヌや羊にはピッタリと当てはまるのであるが、これを人間社会にたとえるとまた面白い。シマウマやガゼルのような性格の人間ばかりが構成員であれば組織そのものが成り立たないが、逆に羊ばかりでも発展性がない。羊の群れの中に適当な数の山羊を入れ、優秀な牧羊犬を飼っておくことが、ひとつの組織を運営していく上では最も理想的な姿と言えるのではないだろうか…。

ニュージーランドの羊

私にとって、羊といえば真っ先に思いだされるのが1980年2月、ニュージーランドで開催された第6回アジア太平洋消化器病学会での思い出である。当時、私は国立福岡中央病院の外科医長に就任していたが、大学医局時代に行った食道静脈瘤の内視鏡所見の研究をまとめ、九大第二外科教室で門脈圧亢進症の研究に従事していた別府和茂助手（現在、福岡市中央区別府外科院長）と一緒に参加した。

当時は大きな国際学会に際しては、旅行会社が各大学から出席者を募り格安の団体旅行を企画することが多く、私達は東北大学第一外科の佐藤壽雄教授を団長とするツアーに参加した。学会期間中以外は完全な団体観光旅行で、佐藤教授や船曳孝彦藤田保健衛生大学外科教授（後に学長）など我が国の外科学会の大御所達と御一緒にゴルフに出掛けるなど、ニュージーランド観光を大いに楽しんだ。ニュージーランドは世界屈指の牧羊大国で（2012年の統計では羊の数は約3,126万頭、人口の約7倍である）草原のあちこちで羊が草を食むのどかな風景が印象的であった。学会に参加した他大学の外科医達と一緒に仲良く食卓を囲み、ラム、ホゲット、マトン（生後1年未満の子羊の肉をラム、1年以上2年未満をホゲット、2年以上をマトンと区別していた）料理を満喫したのも楽しい思い出のひとつである。

旅行中に見物した羊毛刈りのショーも面白かった。屈強の男が二人掛りで羊を押さえつけ、バリカンで羊毛を刈り取る作業をショー化したものである。大変な熟練を要し、体力も必要という説明であったが、その手際の良さは見事であった。

会長講演の中の羊

次に私の思い出の中に甦る羊は、第108回日本外科学会学術総会（2008年5月、長崎市）における会長講演に登場した羊である。

兼松隆之会長は、「外科学と科学技術の幸福な結婚がもたらす2050年 外科への希望」という大変ユニークなタイトルの会長講演をなされたのであるが、これがまた大変大きなインパクトのある名講演であった。この講演の最後を締めくくったのが、日本の老舗醤油メーカーが開発した新薬によって、今迄重労働であった羊毛の刈り取り作業が、まるでスーツを脱がせるような簡単な作業に変わったという話である。兼松会長はその動画を示しながら、将来は科学の進歩によって癌の摘出手術がこのようにスーツを脱ぐような簡単な作業に変わるかも知れないという夢を語られた。百聞は一見に如かずである。現在は薬を開発したヒゲタ醤油がYouTubeでその動画を公開しているので、是非ご覧いただきたいものである。

未来をみつめ美しく翔ぶ

羊という漢字は、ヒツジを正面から見て、その角と上半身を映した象形文字である。そして、ヒツジの角から後肢までの全体を見た姿を写した象形文字が美という漢字になるのだそうである（白川静著、常用字解）。

昨年の日本の世相を代表する一文字漢字は、応募数第一位が税、第二位が熱、第三位が嘘であった。日本を真似して他の漢字文化圏でも同じようなイベントが開催されるようになったという話であるが、昨年上位を占めたのは法、腐、妖（以上、中国）、黒（台湾）、乱（シンガポール）といずれも暗い意味の漢字で占められていたそうである（平成26年12月29日付毎日新聞余録）。

未年の未は未来の未である。今年は戦後70年の節目の年であり、国産初となるジェット旅客機MRJやHonda Jetが初飛行、あるいは初納入が予定されている年でもある。2015年が美しき未来を見つめながら空高く翔ぶ年になり（翔の羊は揚という音を写したものという）、世相を表現する漢字も美、あるいは翔、祥になって欲しいものと心から祈念している。

赤十字巡礼の旅（その1） ～アンリー・デュナンの生涯～

福岡赤十字病院 血液浄化療法内科 部長 満生 浩司



アンリー・デュナン

平成2年に医者となり平成5年から愛媛県松山赤十字病院で15年、続いて現在の福岡赤十字病院で6年を超え都合約20年赤十字病院に勤務している。お陰さまで20年勤続の表彰も賜ったが、何よりも有難く印象深かったのは赤十字の祖であるアンリー・デュナンの足跡を辿る旅行団に参加できたことであった。これまで中越地震など赤十字の救護活動にも加わり、ある程度は赤十字精神というものを知ってはいるつもりであったが、医局人事の出張先がたまたま赤十字病院であったという域からは出ないというのが正直なところであったと思う。それが遠くスイスそして北イタリアへと向かい、赤十字の源流を直接目と耳と肌で実感してきた。大変貴重な体験であったことは言うまでもない。

ソルフェリーノの思い出

アンリー・デュナンは1828年5月8日スイス連邦ジュネーブで生まれた。父は実業家という裕福な家庭に育ったが、内面的には厳格なキリスト教博愛主義精神の持ち主である母の影響を最も強く受けたと懐述している。しかし若き日のデュナンは父のような実業家を夢見て、フランス領北アフリカのアルジェリアで農園や製粉業といった事業を始めた。31歳であった。ところが土地取得や水の利権問題が生じ頓挫する。困ったデュナン

はフランス皇帝ナポレオン3世に直訴しようと思い立ち、皇帝のもとへと向かう。当時ナポレオン3世はイタリアの独立を手助けするために北イタリアに進軍し、サルデーニャ王国ヴィットリオ・エマヌエレ2世（後のイタリア国王）とともに、この一帯を支配するオーストリア帝国軍と対峙していた。1859年6月24日両軍は北イタリアのソルフェリーノという村を中心に激突した。フランス・イタリア連合軍15万人に対しオーストリア軍は17万人、指揮系統の混乱もあり壮絶な死闘となった。最初の1日だけで死傷者は4万人を超えた。ナポレオン3世を追ってきたデュナンはちょうどこの日ソルフェリーノに入り、まさに地獄絵図を目の当たりにすることになった。戦場の6km西に位置するカスティリオーネには次々と負傷者たちが運び込まれ、町の教会は野戦病院と化した。ここでは住民たちにより敵味方、国籍に関係なく救護が施されていた。皆口々に「トゥッティ・フラテルリ（みんな兄弟です）」と唱えながら。医療とは縁のないデュナンであったが、想像を絶する悲惨な状況に我を忘れ、現地の婦人たちと傷病者の手当に奔走した。しばしこの地に滞在したデュナンはジュネーブに戻り、この衝撃的な体験を「ソルフェリーノの思い出」という一冊の本に書き綴った。もともと強い博愛主義の精神の持ち主であるデュナンにとってまさに人生を変える経験であった。そしてこれが赤十字の原点となるのである。

宗教戦争の結果ヨーロッパ中に難民があふれた頃、自分たちの生活も儘ならないにもかかわらず、より困窮した彼らを快く迎えたジュネーブの町は「難民の町」と呼ばれた。訪れるととても落ち着いた瀟洒な街並みが広がっている。今でも旧市街地のアパートメントには必ず最上階が継ぎ足して増築されているのが見て取れる。当時難民たちを住まわせるために町の命令で強制的に行われ



アンリー・デュナンの生家



ソルフェリーノの塔より望む北イタリアの農村風景

たという。こういった風土がアンリー・デュナン、赤十字を生み、そして現在も多くの国際機関が集まる礎を作ったのだろう。そんな市街地の一角にあるデュナンの生家を訪れた。ごくありふれた石造りのアパートメントで1階は店舗となっているが、壁に記念の額がはめ込んであり往時を偲ぶことができる。彼が青年期に学んだ学校は、その創始者の名を冠するカルヴァン高校（当時ジュネーブ高校）であった。スイス・ジュネーブの人たちが誇りとする宗教改革で知られたジャン・カルヴァンであるが、デュナンも双璧をなす偉人だと現地の通訳さんから承った。

北イタリアでは激戦の中心ソルフェリーノ、救護の地となったカスティリオーネの町を巡った。ソルフェリーノでは小高い丘陵の上に立つソルフェリーノの塔や、戦死者を祀った納骨堂を訪れた。塔の上に立つと雄大で牧歌的な北イタリアの農村地帯が一望できる。この塔を巡って両軍が激突したというが、戦略的にうなずける話である。納骨堂内は衝撃的な光景であった。1,400余りの頭蓋骨や大腿骨が壁中にぎっしりと積み重ねられ、こういった習慣に接することのない日本人にとっては恐怖ですらある。しかしそこには階級や国籍の区別はなく、すべて平等な祀り方なのである。カスティリオーネでは赤十字博物館と戦争の際救護所となったキエザ・マジョーレ教会を訪ねた。赤十字博物館はソルフェリーノの戦いからちょうど100年目の1959年6月24日に開設され、訪れる人々にその歴史を伝えている。そこでは赤十字の歩みについて、当時の医療器具や搬送用車両といった貴重な展示物を拝見しながら、大変詳細な解説を拝聴し理解が一層深まった。キエザ・マジョーレ教会は外観、内部とも荘厳の一言に尽



ソルフェリーノの納骨堂内部

き、まさに身が引き締まる空気感であったが、戦時下は500人ほどの負傷兵たちが収容され悲壮な状況であったのだろう。デュナンは暫くの間この地に滞在し救護活動に参加、この体験が彼の人生最大の分岐点となった。

赤十字の誕生

ジュネーブに戻ったデュナンは「ソルフェリーノの思い出」を執筆するが、その内容は悲惨な戦場の記述だけにとどまらず、中立的な国際救護団体の設立が提案されていた。そして出版されるや世界中で大反響を呼ぶこととなり、ついにはジュネーブ公衆福祉協会がその提案の実現へと動き出した。1863年2月人望に厚いデュフル將軍を委員長として医者モノワールとアッピア、法律家のモワニエそしてデュナンによる5人委員会（のちに国際負傷軍人救護常置委員会）が編成された。この組織はその後赤十字国際委員会へと発展してゆくわけで、こうして赤十字は産声を上げた。10月には14カ国18名の国家代表が参加した初の国際会議も開かれている。現在広く知られている「白地に赤の十字」という標章は、誕生の地であるスイスへの敬意を表するために、その国旗の赤白を逆転させたものと定めたのもこの委員会であった。彼らが目指す中立的な救護団体の正式な設立のためには、政府が招集した国家の代表が集う国際会議とそこで締結される国際条約が必要であった。そこで翌1864年8月8日スイス連邦政府主催で16カ国の政府代表26名によるジュネーブ外交会議が開催された。場所はジュネーブ市役所ホール（通称アラバマ・ルーム）で、議長は5人委員会のデュフル將軍が務めた。そして戦場での病院やそこで働く者たちは中立であるこ

と、負傷者は国籍を問わず救護を受けること、各国の軍隊はこのルールに従うことなど全10条を規定したジュネーブ条約が締結されるに至った。

ジュネーブ旧市街地の一角に建つアテネ館と市役所を訪ねた。アテネ館の内部は拝見できなかったが、外壁に「ここで5人委員会が開かれ赤十字創設の場所であること」が記念額として彫り込まれてある。市役所はルネッサンス風やギリシャ風の門や柱で形作られた芸術的建造物で、ここが役所であるとは思えない空間であった。ジュネーブ条約が締結された「アラバマ・ルーム」は一般へは非公開であり、内部を見ることはできない。しかしわれわれがアラバマ・ルーム前に到着したときうれしい事件が起きた。この部屋は公用の会議としては使用しているため、この時たまたま準備



アラバマ・ルーム

のためにケータリング業者の男性が訪れていたのだが、そのため扉が開いており彼も顔を出していた。それを見つけた現地の日本人の通訳さんがまくしたてるようにフランス語で懇願し、中に居た議長の方に取り次いでもらうことになった。わざわざ日本から赤十字のルーツを訪ねてやって来た旨を伝えと、彼は意外にも内部の見学を快諾してくれた。重厚な内装や家具が素晴らしく、壁にはデュマレスクによる当時の会議の様子を描いた絵画や記念額がはめ込まれていた。数枚の写真を撮って慌ただしく立ち去ったが、実に貴重で幸運な体験であった。翌日現地の国際赤十字本部の方々にこの話をすると、自分たちですら見たことはないのにと、とても驚いていた程である。

〈参考文献〉岸井敏「赤十字巡礼」



アテネ館

一番大切な思いやり…

「安心・安全・清潔」



TAIYO 太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社
〒812-0044 福岡市博多区千代1-1-5
TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200
TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 **中島 健介**



医療関連
サービスマーク認定

太陽セランドグループ会社

太陽セランドホールディングス株式会社	太陽セランド株式会社	太陽インダストリー株式会社	太陽シルバースervice株式会社
太陽ホテルリネン株式会社	ジャパンエアマット株式会社	株式会社北九州シーアイシー研究所	株式会社メディカルナビゲーション
株式会社セランド	株式会社サンウエックス	株式会社おたふく屋	

お問い合わせ TEL 0947-44-1847 Mail info@taiyoseland.co.jp Web <http://www.taiyoseland.co.jp>

ヴァイオリンの不思議

元 医療法人 誠十字病院 安田 宏一
平衡神経科 医師

ヴァイオリンは不思議な楽器である。ヴァイオリンの演奏を学習する人は、ピアノと並んで最も多い。また、オーケストラの諸楽器のリーダーでもある。

不思議に思うのは、その演奏スタイルである。楽器を左の肩に乗せ、顎で支えて弾く。ずいぶん窮屈だと思う。楽器の形も、ユニークである。楽器の中央がくびれて、極端な瓢箪型になっている。音の出し方も、本体の弦と弓のつるをこすり合わせる。多くの弦楽器は、ギター・マンドリンをはじめ、琴・三味線・琵琶など、弦をはじいて音を出す。またヴァイオリンの弓が、武器の弓のように半月状ではなく、逆向きに反っているのも面白い。

ヨーロッパの弦楽器の起源は、アラビアだと言う。ギリシャ・ローマにはハープはあったが、ヴァイオリンやギターのような弦楽器はなかった。古いヨーロッパの絵画を見ると、15世紀ごろから弦楽器が描かれている。リュートとよばれ、指で弦をはじいて音を出す。それが17世紀になると、突然今日と同じようなヴァイオリンが出てくる。弓で弦をこすって音を出す方法を、誰が思いついたのか。

日本の古い楽器に、胡弓という弓でひく弦楽器があった。中国では胡琴という。「胡」はシルクロードの西の国を指す。弦楽器は中国にも、アラビアから伝えられたのである。それが元の時代に、弦を弓でこすって音を出す技法が考案された。蒙古民族は、馬に乗り弓矢で狩をする。狩猟用の弓が、ぐうぜん楽器の弦に触れ、よい音が出た。そこで弦を弓で弾くことを、思いついたのではないか。その奏法が明に引き継がれ、明に来たヨーロッパ人がそれを真似た。それがヴァイオリンの発展になったのであろう。

つまりヴァイオリンの本体の弦楽器はアラビアで生まれ、弓を使って音を出す奏法は中国の元の人たちの発明であった。中国の胡琴は、膝の上に立てて演奏する。ヴァイオリンを左肩に乗せて演奏するのは、ヨーロッパ人のアイデアである。17世紀の楽器に、ヴィオラ・ダ・ガンバとヴィオラ・ダ・ブラッチョがある。前者が膝のヴィオラ、後者が腕のヴィオラだという。このころ、楽器を膝に乗せて演奏していたのだが、肩にあてるスタイルが加わった。



「朝の調べ」池田清明

●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

平成 26 年 12 月福岡県私設病院協会の動き

◎看護部長会運営委員会

日 時 12月5日（金）午後3時～
場 所 協会会議室
議 題

1. 協議事項

- (1) 「看護部長会運営委員会」の運営について
- (2) 今年度のテーマについて
 - ① 人材確保・定着、魅力ある職場作り、教育
 - ② 診療報酬改定について
 - ③ 九州厚生局の立入検査について
 - ④ その他

2. 報告事項

- (1) 研修会について
- (2) 私設病院協会10月～11月の動き
- (3) その他

◎財務委員会

日 時 12月9日（火）午後3時30分～
場 所 協会会議室
議 題

1. 協会財務のあり方について

◎広報委員会

日 時 12月9日（火）午後3時45分～
場 所 協会事務室
議 題

1. 福私病ニュースの編集について
2. その他

◎理事会

日 時 12月9日（火）午後4時～
場 所 協会会議室
議 題

1. 協議事項

- (1) 会員異動について
- (2) 研修会について
- (3) (仮) 地域医療支援病院に係る要望または病床過剰地域における公的病院の地域包括ケア病棟問題について
- (4) 次期診療報酬点数改定に関する要望事項(案)について
- (5) 第47回衆議院議員選挙立候補者の推薦状況について
- (6) その他

2. 報告事項

- (1) 福岡県医療審議会
- (2) 福岡県医師会病院委員会
- (3) 代表理事及び業務執行理事の業務報告
- (4) その他

3. 協会及び関係団体事業報告

- (1) 私設病院協会11月の動き
- (2) 専門学校
- (3) 医療関連協業組合
- (4) 厚生年金基金
- (5) 全日病本部
- (6) その他

『「方丈記」に 学ぶ』

医療法人 清陵会
南ヶ丘病院
事務長

末光 晋也

ある1冊の本を紹介します。

それは、玄侑宗久著『無常という力「方丈記」
に学ぶ心の在り方』という本です。

『方丈記』といえば鴨長明の随筆で「ゆく河の
流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず」
ではじまる冒頭文で有名です。無常とは仏教でい
うところの「所行無常」であり「世の中は儚いも
ので、全ては移り変わっていく」という概念で、
著者は、世の中は無常（全ては移ろっていく）で
あって、今の状態がずっと続くと思ひ込むのは執
着（自分勝手な都合）であると語っています。

また、「風流」とは「ゆらぎ」のことであり、
自然の脅威に慌てふためく心のゆらぎや不測の事
態に苛立ったり悲しんだりする自分の心の動きを
禅の世界では「風流である」とも語り、「何が起
ころうと、悩むことはない。断定することはない。
全てを受け容れ、揺らぎつづけるしかないのだ。
いや、どんどん揺らげばいいのだ。それが自由に
なることであり、強くなることでもあり、未来を
楽しむことである。」と論じている。養老孟司氏
が「新入社員に勧める1冊」として『方丈記』を
勧めているのは、皮肉だけではなく、執着（自分
勝手な都合や思い込み）することなく、全ての事
象を受け入れゆらいでいくという事は、人生にお
いて、取分け仕事においても相通ずるところが大
きいからでしょうか。

私はこの「ゆらぎ」という言葉を聞いて、ソー
シャルワーカー時代に拝読した故尾崎新先生の
『「ゆらぎ」という経験こそ社会福祉実践の原点
である』という言葉が思い出されました。

同じ仕事を何年も続けていると、大抵の事は
一通り経験してしまい、同じ事のように繰り返し対
応してしまいがちであるが、「ゆく河の流れは絶
えずして…」そう、同じ事は2度とない。マンネ
リ化してしまった日常の中にこそ、常に「ゆら
ぐ」、同じ事ではない、これは初めての体験であ
ると気づき、そして揺れ動く自身の心を感じてい
きたいものです。





日本医療機能評価機構認定病院
救急告示・開放型 臨床研修病院指定



医療法人

西 福 岡 病 院

理事長 安 藤 文 英
院 長 中 垣 充

〒 819-8555
福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号
電 話 (092)881-1331 FAX (092)881-1333
E-mail:jim@nishifukuhp.or.jp
URL <http://www.nishifukuhp.or.jp>

国家公務員共済組合連合会

浜 の 町 病 院

院 長 一 宮 仁

〒 810-8539
福岡市中央区長浜三丁目三番一号
電 話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262
E-mail:info@hamanomachi.jp
URL <http://www.hamanomachi.jp>



医療法人 福岡桜十字

桜 十 字 福 岡 病 院

理事長 今 村 博 孝
院 長

〒 810-0004
福岡市中央区渡辺通 3-5-11
電 話 (092)791-1100 FAX (092)791-1105
E-mail:fukuoka.info@sakurajyuji.jp

特定医療法人 順和

長 尾 病 院

理事長 服 部 文 忠
院 長 保 利 敬

〒 814-0153
福岡市城南区樋井川 3-47-1
電 話 (092)541-2035 FAX (092)541-2045
E-mail:soumul@nagao.or.jp

医療法人 佐田厚生会

佐 田 病 院

理事長
院長 佐 田 正 之

〒 810-0004
福岡市中央区渡辺通 2 丁目 4 番 28 号
電 話 (092)781-6381 FAX (092)724-9411
E-mail:info@sada.or.jp



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部

福 岡 県 済 生 会 二 日 市 病 院

院 長 間 野 正 衛

〒 818-8516
福岡県筑紫野市湯町三丁目 13 番 1 号
電 話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210
E-mail:infosaisei@saiseikai-futsukaichi.org

医療法人社団 水光会

宗像水光会総合病院

理事長
院長 津 留 英 智

〒 811-3298
福岡県福津市日蔭野 5 丁目 7 番地の 1
電 話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981
E-mail:hosp@suikokai.or.jp

医療法人 清和会

長 田 病 院

理事長 長 田 英 輔
院 長 木 下 正 治

〒 832-0059
福岡県柳川市下宮永町 523 番地 1
電 話 (0944)72-3501 FAX (0944)72-5027
E-mail:nagatahp@smile.ocn.ne.jp

医療法人 敬天会

武 田 病 院

院 長 武 田 卓

〒 814-0104
福岡市城南区別府 4 丁目 5 番 8 号
電 話 (092)822-5711 FAX (092)822-5714
E-mail:tacfunw1n@gmail.com

医療法人社団 久英会

高良台リハビリテーション病院

理事長
院 長 中 尾 一 久

〒 830-0054
福岡県久留米市藤光町 965 番地の 2
電 話 (0942)51-3838 FAX (0942)51-3535
E-mail:kouradai-web@kyueikai.jp

社会医療法人財団 池友会

福岡和白病院

理事長 蒲池真澄
院長 伊藤翼

〒 811-0213
福岡市東区和白丘 2 丁目 2-75
電話 (092)608-0001 FAX (092)607-3051
E-mail:info@f-wajirohp.jp

医療法人 永聖会

松田病院

理事長 松田峻一良
院長

〒 812-0053
福岡市東区箱崎 2 丁目 10 番 2 号
電話 (092)651-0522 FAX (092)651-5793
URL <http://www.matsuda-hospital.jp>

地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院

糸島医師会病院

院長 富田昌良

〒 819-1112
福岡県糸島市浦志 532 番地 1
電話 (092)322-3631 FAX (092)322-3774
E-mail: info@itomedhp.jp
URL <http://itomedhp.jp>

医療法人 恵光会

原病院

理事長 久原伊知郎
院長 山下青史朗

〒 815-0042
福岡市南区若久 2 丁目 6 番 1 号
電話 (092)551-2431 FAX (092)561-0589
E-mail:info@hara-hospital.com

医療法人社団 福光会

福田眼科病院

理事長 福田量
院長 江島哲至

〒 814-0013
福岡市早良区藤崎 1 丁目 24 番 1 号
電話 (092)841-2345 FAX (092)841-2649
E-mail:fukudaganka@nifty.com

医療法人社団 筑山会

松岡病院

理事長 松岡嘉宣
院長

〒 821-0012
福岡県嘉麻市上山田 1287
電話 (0948)52-1105 FAX (0948)52-1926



救急告示・開放型病院
特定医療法人 八木厚生会

八 木 病 院

理事長 八 木 健 司
院 長

〒 812-0054
福岡市東区馬出 2 丁目 21 番 25 号
電 話 (092)651-0022 FAX (092)631-1919
URL <http://www.yagi.or.jp>

医療法人社団 研英会

林 眼 科 病 院

院 長 林 研

〒 812-0011
福岡市博多区博多駅前 4 丁目 23 番 35 号
電 話 (092)431-1680 FAX (092)441-5303
E-mail: mail@hayashi.or.jp

医療法人社団 桜珠会

可 也 病 院

理事長 栗 田 三 郎
院 長 栗 田 輝 久

〒 819-1314
福岡県糸島市志摩師吉 1200 番地
電 話 (092)327-0131 FAX (092)327-5532
E-mail: kaya03@kaya-hp.com

公益財団法人 健和会

健和会大手町病院

院 長 西 中 徳 治

〒 803-8543
北九州市小倉北区大手町 15-1
電 話 (093)592-5511 FAX (093)592-2726

早 良 病 院

院 長 梅 野 守 男

〒 819-0002
福岡市西区姪の浜二丁目 2 番 50 号
電 話 (092)881-0536 FAX (092)883-8761
URL <http://www.sawara-hp.jp>

宗像医師会病院

院 長 大 塚 毅

〒 811-3431
福岡県宗像市田熊 5 丁目 5 番 3 号
電 話 (0940)37-1188 FAX (0940)37-0016
URL <http://www.mmah.jp>

医療法人

つくし会病院

理事長 中村 奎 吾
院 長 脇坂 愛次郎

〒 816-0902
福岡県大野城市乙金 3 丁目 18 番 20 号
電 話 (092)503-2261 FAX (092)503-2474

国家公務員共済組合連合会

千早病院

院 長 明 石 良 夫

〒 813-8501
福岡市東区千早 2 丁目 30 番 1 号
電 話 (092)661-2211 FAX (092)683-0411
E-mail:chihaya@chihaya-hp.jp

医療法人 井上会

篠栗病院

理事長 陣 内 重 三

〒 811-2413
福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 94 番地
電 話 (092)947-0711 FAX (092)947-0715
E-mail:info@sasaguri.or.jp
URL <http://www.sasaguri.or.jp>



社会福祉法人 恩賜財団 済生会

福岡県済生会 八幡総合病院

院 長 北 村 昌 之

〒 805-0050
北九州市八幡東区春の町 5 丁目 9 番 27 号
電 話 (093)662-5211 FAX (093)671-2310
URL <http://www.yahata.saiseikai.or.jp>

地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市民病院

院 長 竹 中 賢 治

〒 812-0046
福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号
電 話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900
E-mail:shiminbyoin@fcho.jp
URL <http://www.fcho.jp/shiminhp>

社会医療法人

原土井病院

理事長 原 寛
院 長 小 柳 左 門

〒 813-8588
福岡市東区青葉 6 丁目 40 番 8 号
電 話 (092)691-3881 FAX (092)691-1059
E-mail:info@haradoi-hospital.com
URL <http://www.haradoi-hospital.com>

社会医療法人 喜悦会

那珂川病院

理事長 井上史子

院長 下川敏弘

〒811-1345

福岡市南区向新町2丁目17-17

電話 (092)565-3531 FAX (092)566-6460

E-mail:mail@nakagawa-hp.com

福岡逋信病院

院長 津田泰夫

副院長 和田寛也

〒810-8798

福岡市中央区薬院二丁目6番11号

電話 (092)741-0300 FAX (092)781-2563

E-mail:fteisinhp@f-teisinhp.jp

URL <http://www.hospital.japanpost.jp/fukuoka>

医療法人 博愛会

京都病院

みやこ

院長 岡松秀一

〒824-0811

福岡県京都郡みやこ町勝山箕田298番地

電話 (0930)32-2711 FAX (0930)32-2848

E-mail:miyako-post@miyako-hp.or.jp

国家公務員共済組合連合会

新小倉病院

院長 渋谷恒文

〒803-8505

北九州市小倉北区金田1丁目3番1号

電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553

E-mail:shinkokura@shin-kokura.gr.jp

URL <http://www.shin-kokura.gr.jp>

医療法人社団 江頭会

さくら病院

理事長 江頭啓介

院長

〒814-0142

福岡市城南区片江4丁目16番15号

電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570

E-mail:info@sakurahp.or.jp

久留米大学病院

病院長 坂本照夫

〒830-0011

福岡県久留米市旭町67番地

電話 (0942)35-3311 FAX (0942)32-6278

URL <http://www.hosp.kurume-u.ac.jp>

医療法人社団 照和会

西岡病院

理事長 西岡雄二

〒811-1346

福岡市南区老司2丁目3番34号

電話 (092)565-5651 FAX (092)565-5652

— 基本理念 —

すべての子ども達とご家族の
健康と明るい未来を願い、
時代にふさわしい病院を目指します。



地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市立こども病院

院長 福重淳一郎

〒813-0017

福岡市東区香椎照葉五丁目1番1号

電話 (092)682-7000 FAX (092)682-7300

E-mail: f-kodomo@fcho.jp

URL <http://www.fcho.jp/childhp>

福岡県立精神医療センター

太宰府病院

院長 二宮英彰

〒818-0125

福岡県太宰府市五条3丁目8番1号

電話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060

E-mail: info@dazaifu-hsp.jp

独立行政法人 国立病院機構

小倉医療センター

院長 岡嶋泰一郎

〒802-8533

福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘10番1号

電話 (093)921-8881 FAX (093)922-5072

E-mail: admin@kokura.hosp.go.jp

URL <http://www.kokura-hp.jp>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

福岡赤十字病院

院長 寺坂禮治

〒815-8555

福岡市南区大楠3丁目1番1号

電話 (092)521-1211 FAX (092)522-3066

田川市立病院

田川市
病院事業管理者 齋藤貴生
病院長 鴻江俊治

〒825-8567

福岡県田川市大字楠1700番地2

電話 (0947)44-2100 FAX (0947)45-0715

E-mail: shiritsubyouin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp

URL <http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp>



日本医療機能評価機構認定病院
救急病院 指定自立支援医療機関（更生医療）

医療法人 シーエムエス

杉循環器科内科病院

理事長 杉 健 三
院長

〒 837-0916
福岡県大牟田市大字田隈 950-1
電話 (0944) 56-1119 FAX (0944) 56-2077
E-mail: info@sugi-hosp.jp
URL <http://www.sugi-hosp.jp>

一般財団法人 福岡県社会保険医療協会

社会保険田川病院

院長 田 中 裕 穂

〒 826-8585
福岡県田川市上本町 10 番 18 号
電話 (0947) 44-0460 FAX (0947) 45-6540
E-mail: syomuka@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp

医療法人

原 三 信 病 院

理事長 平 祐 二
院長

〒 812-0033
福岡市博多区大博町 1 番 8 号
電話 (092) 291-3434 FAX (092) 291-3424
URL <http://www.harasanshin.or.jp>

独立行政法人 地域医療機能推進機構

九 州 病 院

院長 多 治 見 司

〒 806-8501
北九州市八幡西区岸の浦一丁目 8 番 1 号
電話 (093) 641-5111 FAX (093) 642-1868
E-mail: hospital@kyusyu.jcho.go.jp



社会福祉法人 恩賜財団 済生会

福 岡 県 済 生 会 飯 塚 嘉 穂 病 院

院長 迫 康 博

〒 820-0076
福岡県飯塚市太郎丸 265
電話 (0948) 22-3740 FAX (0948) 29-1987
E-mail: soumu@iizuka-kaho.jp

社会医療法人 雪の聖母会

理事長 井手 義雄

聖マリア病院

病院長 島 弘志

〒 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422
電話 (0942) 35-3322 FAX (0942) 34-3115

聖マリアヘルスケアセンター

病院長 井手 睦

〒 830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5
電話 (0942) 35-5522 FAX (0942) 31-3216



医療法人 徳洲会

福岡徳洲会病院

院長 中 熊 秀 喜

〒 816-0864

福岡県春日市須玖北 4 丁目 5 番地

TEL (092) 573-6622 FAX (092) 573-1733

E-mail: ftokushu@csf.ne.jp

URL <http://www.f-toku.jp>

公益社団法人福岡医療団

千 鳥 橋 病 院

代表理事 小 西 恭 司

院 長 豊 田 文 俊

〒 812-0044

福岡市博多区千代 5 丁目 18 番 1 号

電 話 (092) 641-2761 FAX (092) 633-3311

E-mail: soumu@fid.jp

公立学校共済組合

九 州 中 央 病 院

病院長 飯 田 三 雄

〒 815-8588

福岡市南区塩原 3 丁目 23-1

電 話 (092) 541-4936 FAX (092) 541-4540

URL <http://kyushu-ctr-hsp.com>

公立八女総合病院

企業長 小 野 典 之

〒 834-0034

福岡県八女市高塚 540 番地 2

電 話 (0943) 23-4131 FAX (0943) 22-3185

E-mail: yame-general@yamehp.jp

トータルケア・システム株式会社

代表取締役

長 武 志

〒 812-0013

福岡市博多区博多駅東 3 丁目 9 番 26 号

電 話 (092) 433-1033 FAX (092) 433-1032

E-mail: info@totalcare-system.co.jp

URL <http://www.totalcare-system.co.jp>

福岡医療関連協業組合

理事長

陣 内 重 三

〒 811-2502

福岡県粕屋郡久山町大字山田 1217-17

電 話 (092) 976-0500 FAX (092) 976-2247

E-mail: info@fukuryou.or.jp

M.S メディカル株式会社

代表取締役

佐 藤 雅 晴

〒 810-0044

福岡市中央区六本松 3 丁目 1-58 リード桜坂 1F

電 話 (092)722-0498 FAX (092)722-0525

E-mail:msmedical@chime.ocn.ne.jp

URL <http://www.msmedical.co.jp>

ケア・ルートサービス株式会社

代表取締役

長 武 志

〒 816-0906

福岡県大野城市中 1 丁目 2 番 1 号

電 話 (092)504-5766 FAX (092)504-3281

URL <http://www.careroot.co.jp>

E-mail:cho@careroot.co.jp

株式会社シー・アール・シー

代表取締役会長

江 川 洋

〒 813-0062

福岡市東区松島 3 丁目 29-18

総合インフォメーション (092)623-2111

URL <http://www.crc-group.co.jp>

太陽セランド株式会社

代表取締役社長

中 島 健 介

〒 826-0042

福岡県田川市大字川宮 1200 番地

電 話 (0947)44-1847 FAX (0947)44-5805

E-mail:info@taiyoseland.co.jp

URL <http://www.taiyoseland.co.jp>

福岡県医薬品卸業協会

会 長

平 田 次 雄

〒 812-8681

福岡市博多区山王 2-3-5

電 話 (092)471-2200 FAX (092)414-5676

株式会社タカ・コーポレーション

代表取締役

池 田 徹

〒 812-0016

福岡市博多区博多駅南 4 丁目 3-18

電 話 (092)411-4405 FAX (092)411-4424

E-mail:taka-corp@air.ocn.ne.jp

医療機器総合商社

株式会社 ム ト ウ

代表取締役

田 尾 延 幸

〒 812-0044

福岡市博多区千代 4 丁目 29 番 27 号

電話 (092)641-8161 FAX (092)633-6159

E-mail:kikaku@wism-mutoh.co.jp

URL <http://www.wism-mutoh.co.jp>

ワタキューセイモア株式会社 九州支社

取締役支社長

村 田 弘 志

〒 845-8506

佐賀県小城市小城町 227-2

電話 (0952)72-5111 FAX (0952)73-2220

URL <http://www.watakyu.co.jp>

株式会社 積善社

代表取締役 上 田 勝 久

【本 社】福岡市中央区警固一丁目 9 番 3 号

電話 (092)761-6666(代)・FAX (092)761-6660

URL <http://www.sekizensha.co.jp>

【福岡斎場】福岡市中央区古小島町70-1

電話 (092)522-0789(代)・FAX (092)522-9294

【南 斎場】福岡市南区桧原七丁目43-21

電話 (092)567-0789(代)

【筑紫斎場】福岡県太宰府市吉松四丁目6-1

電話 (092)921-0789(代)・FAX (092)921-6363

【営業支店】電話 (092)921-6666

*掲載は受付順にさせていただきました。



皆様、あけましておめでとうございます。

本年も「ほすびたる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。

「ほすびたる」新年号は、小川洋福岡県知事、松田峻一良福岡県医師会会長、それに石橋達朗福岡県病院協会会長の各氏より年頭のごあいさつをいただきました。それぞれのお立場から、新年に向けての熱い思いを語っていただきました。行政、医療界、そして地域が一体となって国民のための医療を担っていくことの決意が述べられ、大変頼もしく思いました。ご挨拶をいただいた三人の先生方、また、新年号にご寄稿や年賀のご挨拶を掲載していただいた方々に心より御礼を申し上げます。

さて、今この後記を書いている本日、1月16日は、往年の大指揮者、アルトゥール・トスカニーニの命日です。何かの縁でしょうか、今回はこの人について書かせていただきました。実はトスカニーニが発した名せりふがあり、これをいつか実際に使ってみたいと思っているのですが、いまだその機会に恵まれません。このせりふは後述します。トスカニーニはイタリアの大指揮者ですが、ムッソリーニによるファシズムの台頭を嫌い、イタリアを去りニューヨークのメトロポリタン歌劇場（以下メト）に招かれ米国に向かいました。メトでのリハーサル初日、主役を歌うプリマドンナのソプラノ歌手と衝突します。誇り高い彼女は、「マエストロ、私はメトのス

ター歌手ですよ。そのスター（star）に向かって指図をするなんてことはありませんのよ！」というようなことを言うわけです。そこでトスカニーニは冷静沈着にこう応じます。「おじょうさん、あなたは確かにメトのスターです。しかし、私はメトの太陽（sun）です。太陽が輝くとき、スター（星）は見えなくなる」。何ともかっこいいセリフではありませんか。この後、この二人は恋愛関係に陥り、それがもとでトスカニーニはメトを去るのです。「院長！この俺様は病院のスターだぜ。院長からそんな文句を言われる筋合いはねえよ」とうそぶく思い上がった医者にこのせりふを使ってみたいと常々思っていたのですが未だそのような場面に遭遇しません。どなたか機会があれば使ってみてください。胸がすーっとすること請け合いです。

今年は、年頭より世界のあちこちで衝撃的な事件が起こっています。そのような波に翻弄されることなく、医療制度を含め、わが国が培ってきた素晴らしい文化・伝統を保持していくことの大切さを思わずにはおれません。日本から発信される文化や技術が、世界の平和に貢献していくことができればこれにまさる喜びはないでしょう。誰が「太陽」になろうか、「スター」になろうか、そんなことはどうでもよいことのように思えます。今年が皆様にとりまして良い年になりますように編集委員会一同、心より祈念しております。（岡嶋泰一郎 記）

ほすびたる

第 684 号

平成 27 年 1 月 20 日発行

発行 ◎ (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号
福岡県メディカルセンタービル 2F

TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313

E-mail: fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

編集人 ◎ (公社)福岡県病院協会

制作 ◎ (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1
麻生ハウス 3F

TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095

E-mail: mail@azusashoin.com

編集主幹…石橋 達朗

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…竹中 賢治

編集委員…上野 道雄・安藤 文英

平 祐二・津田 泰夫

草場 公宏・塚崎 恵子

謹 賀 新 年

病院・薬局・介護・一般事業所を幅広く支援する **社労士ネット⁺**（ぶらす）
本部：福岡市南区多賀 1-17-30-406 TEL (092)555-7918 FAX (092)555-7920

岡本社会保険労務士事務所 〒836-0047 大牟田市大正町 4-1-10-701 TEL (0944)85-0232 FAX (0944)51-7975	所長 岡本達也
奥 経営労務事務所 〒815-0072 福岡市南区多賀 1-17-30-406 TEL (092)541-8710 FAX (092)555-7920	所長 奥 省三
倉地社会保険労務士事務所 〒811-1356 福岡市南区花畑 2-11-8 TEL (092)210-6641 FAX (092)210-6642	所長 倉地宣典
塩山人事労務管理事務所 〒811-3226 福津市小竹 1-3-7 宗像地建ビル 93 206 TEL (0940)39-3837 FAX (0940)39-3857	所長 塩山哲也
野鶴社会保険労務士事務所 〒815-0071 福岡市南区平和 1-2-10-402 TEL (092)980-2911 FAX (092)980-2911	所長 野鶴智美

- ☆ 福岡県内、九州、山口の病院、介護、薬局、一般企業様に専門家が幅広くサポート
- ☆ セミナー・講習会の開催など
- ☆ 企業退職金、401k 等企業福利制度の見直し・整備
- ☆ 労務管理全般（労務紛争処理、各種院内制度・賃金制度の整備など）
- ☆ 教育訓練、能力開発支援、福利厚生トータル支援、給与計算 その他

謹 賀 新 年

関連法人・団体等と共に企業・従業員様サービスを幅広く提供！

ベネフィット・パートナーズ

代表： 特定社会保険労務士 奥 省三

本部：〒815-0072 福岡市南区多賀 1-17-30-406 TEL (092)555-7918 FAX (092)555-7920
e-mail : oku023@nifty.com <http://oku.plus-hp.com>

- ◎ 福岡県内、九州、山口の病院、介護、薬局、一般企業様に各種ベネフィットの提供
- ◎ セミナー・講習会の開催、社労士ネットワークの業務サポート
- ◎ 福岡中央銀行との各種企業サービス提携事業の推進
- ◎ （株）オールニュートラルとの選択制 401k 等企業福利制度の見直し・整備
- ◎ PanaHome ケアリンクシステム（ケア付高齢者住宅一括借上げシステム）提携事業
- ◎ 教育訓練、能力開発支援、福利厚生トータル支援、給与計算その他幅広いサポート

.....
関連法人・団体等と密に提携！ 幅広く！ より深く支援！

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| ■ 病院・薬局・介護事業所を幅広く支援する特定社労士 | 奥経営労務事務所 |
| ■ 社労士を中心とした専門家の任意団体 | 社労士ネット^{プラス} |
| ■ 選択制 401k、長期障害補償制度など | (株)ニュートラル・ホールディングス |
| ■ 介護事業及びその労務管理支援事業 | パナホーム不動産株式会社ほか |